

適用範囲

- 施工可能な場所 水がかりのない内装（店舗・マンション、オフィスエントランス・居間・寝室・玄関・廊下等）
- × 施工できない場所 外壁、床、高湿度の場所、水がかりの恐れがある場所（浴室・キッチン・洗面等）

施工手順



1 下地処理

下地には石膏ボードや合板等を使用してください。

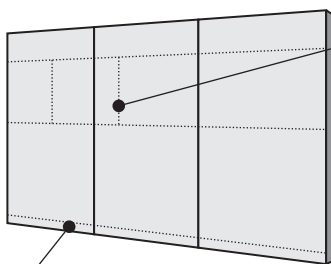
石膏ボード：9.5mm 以上

合板：9mm 以上

下地の精度が仕上りに大きく影響します。凹凸・不陸、ビスの飛び出し等がないよう調整してください。
必ず接着剤と両面テープ貼り施工をしてください。

2 割付け

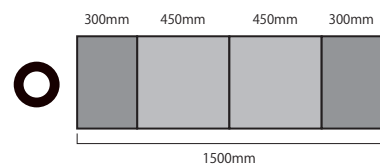
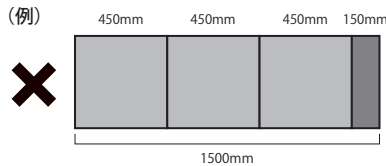
水平・垂直の墨出しを行います。施工する壁面の幅と高さを測り、割付けます。



墨出し線

平目地部分は突付け施工にしてください。
目地部分に下地材の縦の継ぎ目があわない様に割付けにご注意ください。
端部に小さな切り物が入らないようにし、センター割りを推奨します。

(例)



巾木

床からキョーライトストーンパネルが直接立ち上がるような場合は巾木を設置してください。

■ 柄について

● パターンの数

300×300
450×450
600×300

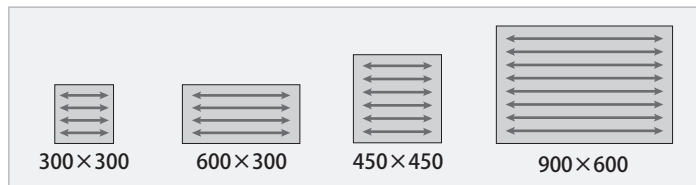
8 柄/箱

900×600

4 柄/箱

● モカ 柄方向

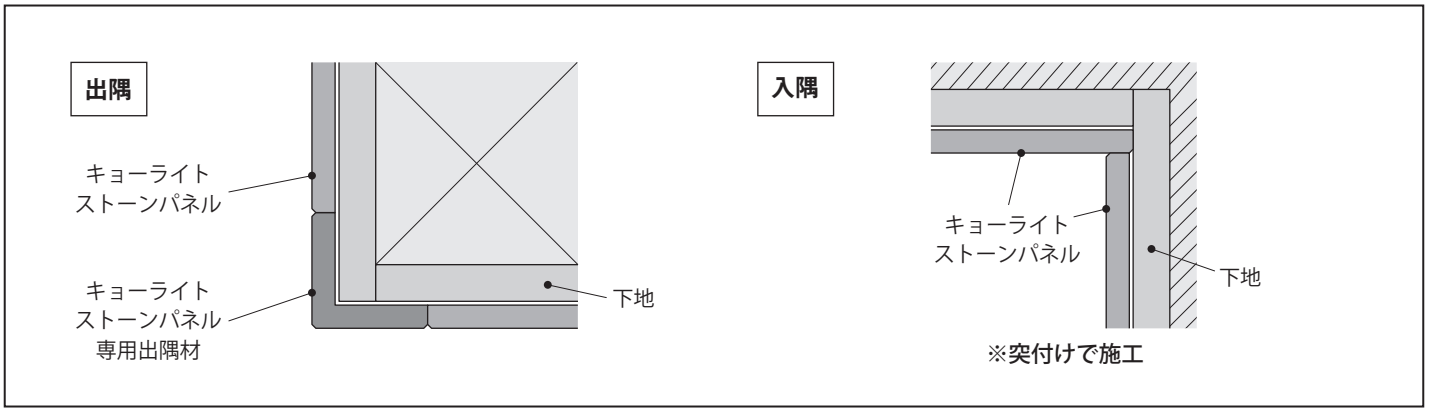
モカには柄方向があります。柄が横に流れるように割付け施工してください。



⚠ 注意

裏面に柄番号が表示されています。
同一柄が並ばないように、貼り付ける前に仮並べて、偏りがないことを確認してから貼り付けてください。

③ 取り合い部の処理



④ カット・加工



⑤ 貼付け

突付け施工で仕上げてください。

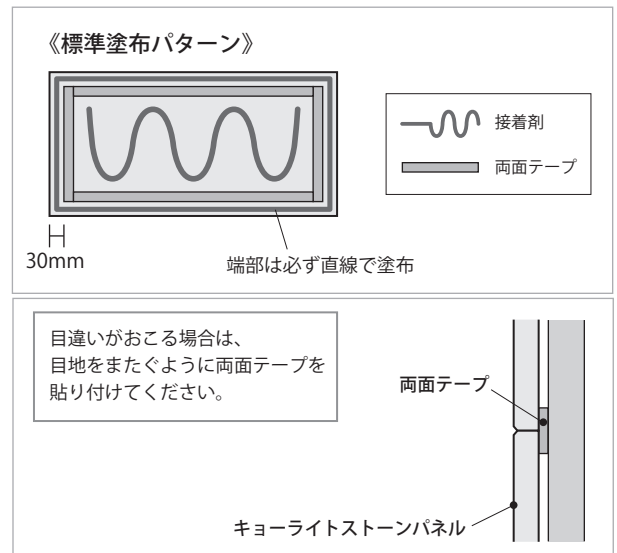
- 石膏ボード ▶▶▶ 接着剤塗布+両面テープ貼付け
- 合板 ▶▶▶ 接着剤塗布+ピンネイル留め 又は 接着剤塗布+仮留テープ貼付け

■ テープ貼付けの注意点

- ・製品の端部に接着剤を塗布するためのスペース 30mm をあけて貼り付けてください。

■ 接着剤塗布の注意点

- ・接着剤は高さ 4mm で塗布してください。
- ・外周には必ず接着剤を直線で塗布してください。
- ・塗布量の目安は 600×300 サイズで接着剤 1/9 本、450×450 サイズで 1/8 本です。塗布量が少ない場合、剥がれなどの原因となります。
- ・接着剤塗布後 10 分以内に貼付け圧着してください。



推奨部材

●接着剤

アクリル樹脂系エマルジョン系(水系)

ネダボンド W-1000 コニシ(株)

ネダボンドパック コニシ(株)

EM346 セメダイン(株)

変成シリコーン系(弾性)

MPX-1 コニシ(株)

ペンギンセメント 2650 サンスター技研(株)

●両面テープ

アクリル樹脂系

TM テープ W1-20 コニシ(株)

ボードテープ 310 セメダイン(株)

●ピンネイル

長さ 15 mm以上 径 0.6φ メッキステンレス

⚠ フィニッシュネイルで留めると痕が残ります。必ずピンネイルをご使用ください。

⚠ 接着剤・両面テープは推奨品をご使用ください。推奨品以外のものを使用すると、表面が汚れる、シミになるなどのおそれがあります。

⚠ シリコーンコーキング材は表面が汚れる、シミになるなどのおそれがあるため、使用しないでください。

⑥ 養生

接着剤が硬化するまで、24 時間以上養生させます。

⑦ 在庫・保管

- ・在庫・保管は直射日光や雨の当たる場所を避け、風通しのいい屋内に保管してください。
- ・地面への直置きは避け、平らな場所でパレットなどの上に平積みしてください。
- ・壁などに立てかけると反りの原因になりますので、絶対におやめください。



お手入れについて

- ① 日頃のお手入れは掃除機等で表面のホコリを吸い取ってください。
- ② 付着した汚れ等はプラスチック消しゴムで消してください(砂消しゴムは使えません)。
- ③ 染み込んだ汚れは水につけた雑巾を固く絞り、たたくように汚れを落としてください。
※水等で掃除しますと、シミ等が残る場合がありますのでご注意ください。

⚠ 安全に関するご注意

- 切断、研磨、孔開け等の発塵作業を伴う場合は、集塵装置を使用し、必要に応じて防塵めがね、耳栓等を着用してください。
- 取扱い作業は、素手で行為せず手袋等を着用してください。

⚠ 廃棄上のご注意

- 切断片及び粉塵を廃棄する場合は「ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず」に該当します。廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従い処理してください。